

2023年3月8日

データ駆動科学教育研究センター運営委員会

2022年度「数理・DS・AI教育プログラム」自己点検・評価結果

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の自己点検評価項目にしたがい、以下の項目について点検評価を行った。

【学内からの視点】

教育プログラムの履修・修得状況、学修成果に関する事項

本年度までのカリキュラムでは、国際文化学科のみで必修科目とし、その他の学科は選択科目として履修可能としていた。そのため、全学的な履修比率は低い。ただし、2023年度に予定するカリキュラム再編により、本教育プログラム（リテラシーレベル）の申請科目は、すべて必修であるため、学生は必ず履修することとなる。

[対象学生に対する履修登録者の比率]

科目名	対象	対象学生数	履修者数	比率
データサイエンス概論	国際文化学科：必修	43	43	100%
	その他の学科：選択	152	40	26.3%
計	(全学科)	195	83	42.6%

学生アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度に関する事項

本プログラムを含む、すべての授業を対象とした学生アンケートを実施し、学生による授業評価・理解度等について把握している。学生アンケートの結果は、印刷物を図書館等に設置し、全学生ならびに全教職員に周知している。

全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2023年度に予定するカリキュラム再編により、本教育プログラム（リテラシーレベル）の申請科目は、すべて必修であるため、全学科の学生が科目「データサイエンス概論」を必ず履修することとなる。

【学外からの視点】

教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価に関する事項

本教育プログラムの修了学生は非排出のため、進路・活躍状況、企業等の評価を把握できていない。ただし、近隣の関連企業（就職実績があり継続して採用計画のある企業など）に対しては、企業訪問を実施していることから、今後、本プログラムの修了者についても状況把握を行う予定である。

産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項

本学では自己点検報告書に基づき、定期的に外部有識者の方の現地調査を受けている。また、本学運営委員会の外部有識者を含む意見も踏まえ、令和2年12月には「岐阜市立女子短期大学ビジョン」として、短・中長期計画を発表している。本プログラムは、この「岐阜市立女子短期大学ビジョン」に同調し計画されたものである。また、このビジョンを実現すべく、2023年1月に設置した「データ駆動科学教育研究センター」によって、今後も継続的に産業界等からの本プログラムの内容・手法について意見聴取を行う予定としている。